



# 公開選考会

2005年7月3日開催  
発行：大和市市民活動課

## はじめに

大和市は“新しい公共”の担い手となる市民活動を支援するために「市民活動推進補助金」制度を昨年からスタートさせました。今回はその第二回目の選考会です。補助金は新しく活動をスタートアップする団体を支援するための「めばえ」と、すでに活動している団体を支援するための「はぐくみ」の2部門に分かれています。今年は、「めばえ」に2組、「はぐくみ」に1組の応募がありました。応募件数が昨年と比べて少ない分、じっくり討論することができました。

はじめに大和市市民活動課より市民活動推進基金の主旨と市民活動推進補助金制度の説明がありました。

この市民活動推進基金は「市民と市の協働による基金」という点がポイントです。市民のみなさんからいただいた金額と同額を市が上乗せして積み立てるというマッチング・ギフト方式で、これはみんなで市民活動を盛り立て応援していこう、という意味が込められています。市民のみなさんが受ける市民サービスの選択肢が広がるということは、市民一人ひとりの生活が豊かになるということです。この基金を活用した市民活動推進補助金の制度は、活動のスタートアップのための「めばえ」と活動を発展するための「はぐくみ」の2種類があり、それぞれ補助に制限はありますが、これを機に活動を広げてほしいと思います。みなさまからの寄付は昨年は13万円、現在の積立額は約330万円です。今日も募金箱が置いてありますのでぜひ大きな力となるよう、会場のみなさまの協力をお願いいたします。

## 市民活動推進補助金選考委員会

委員名	区分	備考
手塚明美	知見者	NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会理事(事務局長)
平塚恵一 [委員長]	協働推進 会議委員	学習塾経営
益永律子	知見者	NPO法人茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会常務理事(事務局長)
渡辺精子 [委員長 職務代理]	協働推進 会議委員	希望塾 - アメリカ・中国・日本の青年交流 中国南開大学日本研究員客員研究員
熊谷薫	市職員	市民経済部長

## 市民活動推進補助金応募者

番号	区分	応募者	事業名
事業1	めばえ	食のアトリエ	「食育」に関する料理講習会、講演会
事業2	めばえ	パソコン コミュニケーション アシスト ピコピコ	大和市内の各施設・作業所などの福祉施設における情報バリアフリー推進活動。楽しく、ためになる「優しく学べるパソコン・IT普及」訪問事業
事業3	はぐくみ	引地川かわくんだり 実行委員会	羽黒トンボの調査

## 選考委員のあいさつ

平塚恵一委員長

選考基準のポイントは  
意欲 使命(ミッション)  
活動の広がり 実現性



発展性の5つの観点で審査します。めばえの申請には、はぐくみの申請にはを特に重視します。市民活動を支援するための補助金です。よろしくお願いします。



渡辺精子委員

委員長から基準についてのお話がありました。私もそれに沿って選考したいと思います。参加のみなさんからの活発な意見も期待しています。



手塚明美委員

NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会で理事をやっています。個別団体の支援やホームページの作成、広報などをする中間支援組織で、藤沢を元気にしたいと思って活動しています。今日は発展性に重点を置いて審査したいと思っています。



益永律子委員

NPO法人茅ヶ崎市民活動サポートセンターで理事をやっています。こちらではようやく補助金の制度がスタートしたばかりです。今日はその活動が地域の人にどのような新しい効果や発展性をもたらすのかということを基準に審査していきます。



熊谷薫委員

選考委員会の中でただひとりの市の職員です。公務員らしくきびしい審査でのぞみたいと思います。というのは冗談ですが・・・(笑)。よろしくお願いします。



選考のポイント	選考の基準とすべき項目	めばえ	はぐくみ
1. 意欲			
2. 使命(ミッション)	・新しい公共性 (地域に役立つ活動)		
	・社会資源の提供・活用 (発見)		
	・非営利		
	・多様な価値観を認める		
	・社会貢献		
3. 活動の広がり	・先駆性		
	・創造性		
	・連携の可能性		
4. 実現性	・費用の妥当性		
5. 発展性	・継続性		
	・発展性		

は部門別に比重をおく項目

「めばえ」は

- 2. 新しい公共性(地域に役立つ活動)
- 3. 活動の広がり(先駆性、創造性)
- 5. 発展性

「はぐくみ」は

- 2. 使命
- 3. 活動の広がり(連携の可能性)
- 4. 実現性

「めばえ」は事業の始まりを手助けさせていただいたため、「はぐくみ」は事業をさらに発展させていただいたためのものです。毎年4月から5月末まで募集しています。皆さまふるってご応募ください!

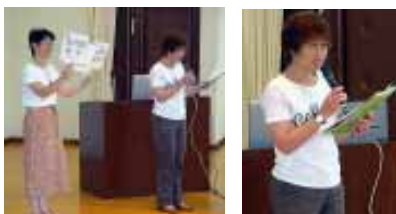


## 応募者によるプレゼンテーション

### 事業1.「食育」に関する料理講習会、講演会 [食のアトリエ]

2002年の秋から活動しています。鶴間にあるさがみ生活クラブ生協の「生活館」をもっと地域に開放したい。子育て中のお母さんの交流の場をつくりたい。人の心、人の手のぬくもりから生まれた食材の食卓を広げたい。そのような思いの人が集まって「お料理講習会&ランチタイム」を企画し活動しています。

活動の目的は3度の食事で心と体の充足を子どもたちに感じてほしいということです。本当に子どもが心も体も満たされる食事は 大人がそれぞれ食を楽しむライフスタイルを築くこと 「食事は命のエネルギーを高める心ときめくものでなければならない」という考え方で、食材の命を考えることが必要です。



食のアトリエは普通の料理講習会と以下の点が違います。

参加型でアンケートをとり人をつなぎながら活動を継続する

講師は地域の専門家、またはおばさん、お母さん

本物の味、旬にこだわる食材（ある日の食材：遺伝子組み換えの餌、葉などを使わない開放鶏舎で育てた秋川牧園の鶏肉を使い、それを資料にし、安全な食材についてともに考える）

情報交換の場、食を楽しむレストランのイメージ

この目的を広めるため2005年には食育コーディネーターの大村直己さんを招いて講演会を行いたいと思っています。その講演会からまたこの活動が地域に広がるのではないかと思います、めばえに応募しました。よろしくお願いします。

## 質疑応答

### 選考委員

2002年から講習会を続けているようですが、今回の補助金への応募によって活動にどのような変化があるのでしょうか？また、講習会に参加されない方へ情報を伝えるための資料のようなものは今まで作成されていますか？

今回講演会を行うことでできるだけ多くの人に参加してもらいたいと思っています。若いお母さん方が参加し、そういう人が自分で考えて、地域に戻ってそこでまた活動し輪を広げるといえるようになってほしいと思います。資料については今まで参加者の方にレシピという形でしか提供してこなかったのですが、今後はレシピ集もつくっていきたいと考えています。

### 選考委員

補助金で活動がどう変わるか具体的にお願いします。

講演会を聞いて食に対する考えが変わり、自分の食卓を変える。そのことが地域を変えることにもつながると思います。

### 選考委員

資料を見ると年間の予算のように書かれているので、今回の補助金で講演会をどうしてもやりたいというような意欲が見られるととってもよかったですと思います。

### 選考委員

事業内容が食育という割にはあごを使うメニューが少ないように感じますが・・・。

食卓を楽しくする、というところに重点を置いています。まず大人が楽しむことが食卓に反映します。食育ということでは例えばシュークリームなら牛乳や卵のちがいを考えたり、ということですね。

### 会場参加者

食育ということを日常の活動とし、今回は講演会ということでもう少しパンチを効かせたいということなのかな、と資料を読んで思いましたが、それならもっと講演会に焦点を当ててアピールすればわかりやすかったと思いました。

### 会場参加者

基本的収入源が必要ではないでしょうか？会員から会費を集めて自立するという方法もあります。参加者の自己負担分をもう少し増やしてもいいのでは？

事業2．大和市内の各施設・作業所などの福祉施設における情報バリアフリー推進活動。  
楽しく、ためになる「優しく学べるパソコン・IT普及」訪問事業  
[パソコンコミュニケーションアシスト ピコピコ]

2001年から国をあげてe-JAPAN戦略が始まり、2005年までに世界最先端のIT国家となるという目標が掲げられています。国民の4人に1人がインターネットを利用する時代ですが、情報社会が発展する中で大きな問題となるのがデジタルデバイス=情報格差です。2015年には4人に1人が65歳以上になるといわれている中、高齢者や障害者がIT弱者となっははいけません。そこで大和市民の「デジタルデバイットの解消・改善」とパソコン(IT)ユーザーのバリアフリーのアシスト、「情報ユニバーサルデザイン」推進活動を設立目的とし、毎週火曜日に市内各施設に訪問して、外出できない市民にパソコンを教える活動を行いたいと思います。2005年の6月から市内の施設で活動内容を説

明・交渉し、アンケートをとり、36名の方に参加希望のお返事をいただきました。あさって最初の説明体験会を実施した後、「パソコン笑福会」として実際活動を行いたいと思います。私たちは「ノーマライゼーション」「ITバリアフリー効果」「下から上へボトムアップする」「潜在的にあるものをいきいきとさせる」「不自由をあきらめずに障壁を乗り越えたところに未来がある」などの理想を掲げて活動を行っていきいたいと思っています。



## 質疑応答

### 選考委員

市内の各施設に訪問というのは、具体的にはどこに行ったのですか？また、補助金の5万円は事業のどの部分に当てられるのでしょうか？

大和市内の作業所や福祉施設と交渉した結果、あさってから福田の里、福田作業所、ワークステーション菜の花の3施設で本格的に活動を始めます。補助金の5万円は、ノートパソコン2台分の電気代とプロジェクターのリース代に当てたいと考えています。

### 選考委員

本年度に寄付金（賛助）という欄があるが寄付も募っているのですか？

賛助会員をもっと増やしていきたいと思っています。今回も人数の制約でサポートできない人が出てしまうので、会員を増やし事業を拡大していきたいと考えています。

### 選考委員

現在リースしているプロジェクターなどを補助金で自前で用意するという考えはありますか？

事業が拡大すれば考えます。

### 会場参加者

お金を取ってパソコンを教えるというと、多少金額が安いということはあるけれども、普通のパソコン教室とどう違うのですか？市民活動性はどこにあるのですか？

学習センターなどのパソコンボランティアに来られない人に着目しています。今回のアンケートでも利用したいという方が36名いました。いろいろな方のニーズに合わせられることがミッションだと思っています。

### 会場参加者

自分も大分や宮城で同じような活動をしています。ぜひ応援してあげてほしい。障害者の方がパソコンで名刺印刷などの仕事ができれば、収入を得ることが自信につながり目が輝きます。ただこの活動は非常にタフなので2人だけではとてもできないと思う。ぜひ活動の輪を広げていってください。



### 事業3．羽黒トンボの調査 [引地川かわくだり実行委員会]

引地川は15年前はヘドロのにおいのする汚いどぶ川でした。私たちは15年前から毎年7月に川に入り川をきれいにする活動を続けています。引地川かわくだりの活動には 川のごみ拾い 子どもに川に親しんでもらう活動 川の生き物たちと触れ合う活動、という大きな三本柱があり、行政と連携して行っています。昨年は15年目を記念し、引地川水系で活動する7つのグループが手をつなぎ、大和市内を流れる全流域で清掃活動を行いました。その際に滅びたといわれているハグロトンボが大量発生していることが発見されました。8月8日の調査では552匹が確認され、今年は今日の午前中の

調査では232匹確認しました。復活したハグロトンボは市民の地道な努力と行政の河川改修の努力による、新しい公共の「シンボル」のような存在といえます。そこで今年2回、ハグロトンボの調査を引地川流域の活動団体のみなさんと協力しながら行いたいと思っています。



#### 質疑応答

##### 選考委員

助成金はハグロトンボ調査のために使われるのですか？

引地川かわくだりも含めて考えています。

##### 選考委員

含めて、ということになると少し違って来るように思います。あと分担金というのは何の分担ですか？

引地川かわくだりは生活クラブ生協と大和市民会議に分担金を出してもらい活動しています。今回の分担金の項目にある4万円は大和市民会議から出ています。引地川かわくだりの通常の事業は4万円くらいです。今回の補助金はトンボの調査費用に当てます。

##### 選考委員

事業の内容と支出の書き方が、引地川かわくだりのイベントなのかトンボ調査なのかわかりにくいと思います。

通常の活動、引地川かわくだりの一環として調査活動があるのとらえています。

##### 選考委員

補助金というのは事業に対してどう支出するのかという点を明確にしてほしいのですが。

##### 選考委員

支出のところにあげられている項目はトンボ調査のためのものですか？

この項目は全部含めてのものです。

##### 会場参加者

私は綾瀬市に3年大和市に7年、引地川から歩いて2分のところに住んでいます。金額内容の問題は別として、このぎすぎすした世の中で素晴らしい活動だと私は応援したいと思う。

##### 会場参加者

すべての経費が補助金と分担金とよそからのお金で考えられているが、16年も長い活動期間で、何か自己資金を調達しようという考えはないのですか？

##### 選考委員

ごみ拾いをお願いしている参加者から会費を取ることはできないと自分は理解しています。

自分の参加している団体からの分担金なので全部よそからという感覚はありません。

##### 会場参加者

長い活動の意味を感じ、賛同した人がバザーをすとか、何かお金の形でできないか。分担金はいつまでも続くとは限らないと思うので。

##### 会場参加者

15年やってきて昨年初めてネットワークができ、活動としては岐路に立っていると思います。これから活動が変わっていくのではないのでしょうか。

##### 会場参加者

自分は川に入ることはできないけれど賛助したいという会員を募るなど、活動の輪が広がれるといいと思います。

## 選考シール投票前の確認とアドバイス

- ・ 益永委員

今まで続けてきた活動と、今回補助金を受けてやりたい活動が一体となっていてわかりにくい点がありました。申請の際にアドバイスがあればよかったのではと思います。

- ・ 手塚委員（ピコピコに）

お一人 15分で 500 円とありますが、15分しかないのですか？

障害者や高齢者は疲れやすく、15分くらいが適当だと考えています。

- ・ 平塚委員（食のアトリエに）

この補助金は講演会に絞ったものと考えてよろしいですか？

はい。

## 選考シール投票と投票後の感想



		熊谷	益永	手塚	渡辺	平塚	確認したい点など
めばえ	食のアトリエ	♡	♡	♡	♡	♡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演会の予算書を作成してください</li> <li>・ 材料費は従前の負担率として活動の記録または食育ハンドブックのような形で広めるために補助金を使っていただけと嬉しいです。</li> </ul>
	ピコピコ	♡	♡	♡	♡	♡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティビジネスとして発展される第一歩を踏み出されたと解釈して、支持しました。</li> </ul>
はぐくみ	引地川	♡	♡	♡	♡		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「はぐくみ」のミッションで大事なことは新しい公共性です。実行委員会の構成メンバー連携の可能性をこれから考えてほしい。</li> <li>・ ハグロトンボ調査の範囲を明確にし、事業計画を作成し、収支計画書をきちんと作成し報告書を期待します。</li> <li>・ 今後、活動趣旨に賛同する人を増やし広げる意味でも収支予算の内訳やこれまでの活動報告をより明確にされることを期待します。</li> </ul>

### 会場参加者

こういう補助金の方法は普通のお役所のものとは違い、現場で本当に意味のあることに使ってもらうことが重要だと思います。だから、選考の段階で「こう使う」としていても、条件が変わって他にもっとよい使い道があればそれでもいいと思う。使った結果が有効であれば評価されるものです。そのためにはすべてをきちんとオープンにしていかなければいけません。

会場参加者（引地川かわくだりに）

自分は四国の高松でゲンジボタルを復活させるイベントに参加したことがあります。そのときのことを参考に考えると、ハグロトンボ自体の存在をもっと身近にするような観察会などを行ったらどうでしょうか？

会場参加者（引地川かわくだりに）

16年かわくだりのイベントを続けてきて、去年初めてネットワークができ、ハグロトンボの調査をするといういいことに気がついて、今年はステップアップする年だと思います。

会場参加者（引地川かわくだりに）

トンボの生息状況と環境浄化との関係を報告書にまと

められることをおすすめします。今も工場排水の問題などがあるのでもっときれいになるきっかけになればと思います。

会場参加者

こういう地域に根ざした活動には資金がいる。補助金は一度だということなので、今後はどうやってネットワークを広げるか考えていったらいいと思います。

選考委員

引地川かわくだりにハートマークを入れなかった理由は、分担金4万円というのが気になるからです。補助金がそれらと並列になるのはどうなのか。分担金を支出している団体と大和市との関係はどう使い分けられるのか、そこに引っかかりを感じます。

会場参加者

実際、全部満点の方がおかしい。人によっていろいろな考えがあって当然だと思います。

会場参加者

お金の出所についてはもう少し議論があってもよいと思う。大和市民会議と生活クラブ生協はどちらも非営利のお金なので、違う主体が皆で市民活動を応援しているということでは新しい公共と言えると思います。

## 規定の数を満たし、3事業とも補助金を受けることとなりました。それぞれ感想をひとこと

### 食のアトリエ

ありがとうございました。講演会の準備をし、予算書をつくります。食育ハンドブックについても勉強しながらつくっていききたいと思います。

### ピコピコ

ありがとうございました。あさって最初の説明体験会がありますが、2人で活動を行っていくには力不足を感じます。もっと事業を拡大して会員を増やしたいと思っています。よろしくお願いします。

### 引地川かわくだり

いろいろと貴重なアドバイスありがとうございました。8月に2回目の調査を行いしっかり報告書をつくりたいと思います。たくさんの人と子どもと一緒にトンボと川のことについて理解を深められるようなイベントも考えていきたい。今後も温かい目で応援してください。

## 選考委員から本日のまとめと感想

### 熊谷委員

(食のアトリエに)日々の生活では安全安心な食材が大切だということもわかっていても経済的な妥協もある。安くて安全というところについて、もう少しお聞きしたいです。

(ピコピコに)崇高なミッションだと思います。がんばってください。

(引地川かわくだりに)大和市では認知度の高い活動です。報告書のこと大切ですが、それよりも補助金を使ってこんな事業をしたということをもっとアピールしてほしい。

### 益永委員

(食のアトリエに)安全な食品を購入したり、親子で食について考えたりというのはまさに今、必要とされている活動だと思います。食にこだわらない人への情報発信も考えてほしい。

(ピコピコに)高齢者や障害者をサポートしていく活動は切実で、まだ活動を始めたばかりなのに自己財源について考えているところが、息の長い活動になると評価しました。

(引地川かわくだりに)長年の活動で大和市の人にはよく知られているものなのでしょうが、今後は他の地域の人にも活動を広げ賛同を得てほしいと思います。

### 手塚委員

市民活動にはカンと努力が必要です。こうした助成金に応募するのは努力の1つで、書類など面倒な面もありますが、今までの活動を見直すチャンスととらえ、チャレンジを続けてほしいと願っています。結果を公にしみんなを巻き込んでほしい。PRというのは事業とは別の体力がいりますが、そこを皆さんのパワーで乗り越えることが継続する力になります。

### 渡辺委員

今日補助金を受けられた方々は、今後ぜひ市との協働事業も考えてください。去年、今年とやってみて、補助金額がこれでいいのかとか、補助金制度自体についても考えるところがあります。市民活動推進基金にみなさんもぜひ協力してほしい。

### 平塚委員

今年は応募が3件と少なかったのですがいろいろと考えるところがありました。去年は8件で、応募が少なくなっていることも考えなければならないと思う。社会資源の充実も必要です。来年も選考会がありますので、今年めばえで応募された方は、来年またはぐくみにチャレンジしてください。



## 感想カード

- ・ 大変勉強になりました  
次の活動に大変勉強  
になりました。ありが  
うございました。

- ・ 事業1は安全安心な食材は理想だが、価格の面  
で使用が厳しいという意見に対してどう答える  
のか。事業2はまさに崇高なミッションであり、  
成果に期待したい。事業3はこの種の活動とし  
ての認知度はかなり高く、行政からの補助金を  
受けるというのは、「何をいまさら」の感がある。  
成果の強烈なアピールを。

- ・ 事業2, 3等は、この程度の補助金でよ  
いのかという感じもある。事業3につい  
ては川の状況の変化とトンボの生息との  
相関関係をデータで明らかにしてもらい  
たいと思う。きちんと報告書にまとめる  
ことが求められる。

- ・ 総括：市民活動推進の主旨から3  
事業は課題は見えるが、ステップ  
アップという面ではよかった。  
確認：事業3の羽黒トンボの調査  
一本に絞るのではなく、いろい  
ろな野生の生きもの全体に拡げるこ  
とで環境の監視も広がると思う。  
(調査ありきでなく、コミュニ  
ティーづくりが1番と思う)

- ・ 申請件数が少なかったことは残念で  
すが、以下の点ではよい面もありま  
した。時間がゆるやかに流れ、各提供  
者の主張、個性、素晴らしい点が伝  
わったのが今回の収穫でした。

- ・ 現場を見学機会  
に恵まれ、今後  
の仕事上の考え  
方を少し整理で  
きました。

- ・ 引地川かわくだり  
について、このお金  
万能で殺伐として  
事件の多い世の中  
で、社会に潤いをも  
たらず非常によい  
企画であると思い  
ます。手を上げて  
賛成し協力したい。

- ・ 非常に活発な討論が行われ、勉強に  
なりました。今回申請が3件と少な  
いのが意外で残念な気もしますが、  
今後のご発展をお祈りしています。  
傍聴させていただきありがとうございました。

- ・ 新しい活動を始めるにあたり、  
不安がいっぱいでしたが、応  
援の言葉もいただき勇気づけ  
られました。

- ・ お金のかからない事業 = 市民活動ではな  
い。全ての事業は社会性もあり、公共に  
も有益。事業者は利益を出して、それ  
を行っているにすぎない。‘もと’がとれ  
ない事業が市民事業のように扱われて  
いるような気がする。